



和歌山大学教育学部附属中学校の“いとなみ”

【連絡先】 640-8137 和歌山市吹上 1-4-1 TEL 073-422-3093

【担当者】 福田修武（副校長）

教員研修のモデル校を目指して 一授業力向上と新学習指導要領への対応一 公立学校教員等とともに学ぶ校内研修

校内研修の一部を公開し、公立学校の教員等とともに研修を深めています。

学習指導要領改訂に基づいて着実に教育実践を行うために、日常の相互研修を重視しており、他校教員や教育関係者の要望に応じて研修の場と内容を提供しています。また、近年、本校でも若手教員が増加していることを踏まえ、授業力向上を主目的とした公開研修を実施しています。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業力向上のために

教師自身が主体的・対話的に学ぶ



校内研修掲示板

年間200回の公開授業を実施し、授業改善に向けた講評・助言を共有する仕組みを模索しています。教育委員会や公立学校管理職・教員に対して、随時授業を公開し研修機会を提供する中で、この仕組みや成果をお知らせしています。

1日授業研究プランで授業改善



改善前の授業

改善後の公開授業

授業研究とともに、校内研修のスタイルを提案する取組です。午前中に実施した授業を、大学教員、大学院生が加わって改善策を検討します。午後には、改善した授業を、他校の教員とともに参観し協議を行います。

道徳科完全実施に向けた公開研修



公開研修の様子

道徳科の準備はすべての教員にとって関心事。大学教授による講義を含む研修会や、実践経験豊富な教員を外部講師に招いての授業研究会を実施しました。近隣地域の道徳教育研究会とタイアップした授業研究会も開催予定です。

すべての子ども達が将来の日本・世界を考え行動するために

教科・領域の授業で活用できるカリキュラム開発

附属学校だけでなく、公立学校で積極的に導入可能な授業パッケージの開発をめざしています。

あいサポートプログラム

「知る」から始める、誰もが生きよい社会づくり

【ねらい】 特別活動と道徳科に位置づけて実施します。さまざまな障がいについて理解を深め、自分にできる具体的なサポートに気付き実践しようとする意欲や態度を養います。

【特徴】 鳥取県で一般を対象として始まった研修をもとに、中学3年生対象のプログラム（50分×2コマ）を開発・実施しました。メッセージ認定を受けた方に指導いただき、受講生徒全員が修了バッジを（和歌山県福祉保健部障害福祉課から）授与されました。

【概要】 内容を視覚障害、内部障害、知的障害、肢体不自由、聴覚障害に絞って、映像資料と障害疑似体験（二人一組での触地図体験、車椅子サポート体験）を行います。また、関連内容の道徳の授業を併せて実施し、あいサポーターとしての自覚を高め行動を促すことをめざします。



触地図体験

財政教育プログラム

いろいろな視点で、国の将来と財政を考える！

【ねらい】 社会科公民分野の授業として実施し、様々な立場にある国民の視点を踏まえて予算案を編成する体験を通して、生活と財政のしくみについての理解を深めます。

【特徴】 指導案や授業資料を、本校教員と財務省職員が共同で開発・実施しました。中心課題はロールプレイによる予算案作成です。知識・技能を習得・探究しながら将来社会を構想する活用型の学びを実現します。

【概要】 第1次 日本の財政の課題および財政再建の考え方（2時間）
第2次 予算案の作成・改善（2時間）・・・TTで実施
第3次 民主政治における予算決定のプロセス（1時間）



グループで予算案作成